

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-6	・多様なニーズに対応した住宅政策の展開

主管課・係	課	係
	建設課	建築営繕係
関係課・係	建設課	管理係
	農林課	林政係
	総合政策課	地域振興係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①ユニバーサルデザインを考慮し、かつ、地場産材を活用した安全で安心な住宅の建設が進んでいます。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①ユニバーサルデザイン(以下「UD」)を取入れた住宅の増加。 ②空き家バンク成約。</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A UDを考慮した町営住宅数(累計)</td> <td>戸</td> <td>34</td> <td>※34</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>B 空き家バンク成約(累計)</td> <td>戸</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>C 公共建築物における地場産木材使用件数(累計)</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>D 町営住宅建替戸数(累計)</td> <td>戸</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A UDを考慮した町営住宅数(累計)	戸	34	※34	34	34	36	B 空き家バンク成約(累計)	戸	18	20	23	27	30	C 公共建築物における地場産木材使用件数(累計)	件	18	17	19	-	-	D 町営住宅建替戸数(累計)	戸	12	12	12	-	-
	単位			令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度																																	
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値																																			
A UDを考慮した町営住宅数(累計)	戸	34	※34	34	34	36																																			
B 空き家バンク成約(累計)	戸	18	20	23	27	30																																			
C 公共建築物における地場産木材使用件数(累計)	件	18	17	19	-	-																																			
D 町営住宅建替戸数(累計)	戸	12	12	12	-	-																																			
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p>	<p>5 令和3年度の目標値達成の見込みと方向付け</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>令和2年度の計画は無い。</td> <td>① 既に目標クリア</td> <td>令和2年度の計画が無いことから、目標値を据え置いた。</td> </tr> <tr> <td>B ② 上回った</td> <td>移住者や帰郷する方が多かったため。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>啓発を進め、目標達成が可能であるとする。</td> </tr> <tr> <td>C ② 上回った</td> <td>計画通り整備ができたため。</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>D ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>令和2年度の計画は無い。</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	令和2年度の計画は無い。	① 既に目標クリア	令和2年度の計画が無いことから、目標値を据え置いた。	B ② 上回った	移住者や帰郷する方が多かったため。	② このままで達成可能	啓発を進め、目標達成が可能であるとする。	C ② 上回った	計画通り整備ができたため。		-	D ③ ほぼ目標値どおり	令和2年度の計画は無い。		-																				
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ③ ほぼ目標値どおり	令和2年度の計画は無い。	① 既に目標クリア	令和2年度の計画が無いことから、目標値を据え置いた。																																						
B ② 上回った	移住者や帰郷する方が多かったため。	② このままで達成可能	啓発を進め、目標達成が可能であるとする。																																						
C ② 上回った	計画通り整備ができたため。		-																																						
D ③ ほぼ目標値どおり	令和2年度の計画は無い。		-																																						
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在計画中の松下団地建替事業において、地場産材の活用とUDを取入れた計画としている。 ・空き家バンク登録物件を購入する際に、一定の条件を満たせば補助金を交付している。 ・公共建築物を建設する際に地場産木材の供給に配慮した工期や地元職人が施工できる仕様を設定した。 																																								
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>町営住宅松下団地建替事業において、入居者、区長へ事業説明を行い、要望等を取入れました。</p>																																								

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メゾネット(住宅内に階段がある2階建て)形式を改め、平屋建てのUDに配慮した設計とした。 ・5件の契約が成立し、空き家が解消された。 ・公共建築物に地場産木材を使用することで、流通サイクルが構築された。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階建てを平屋建てにすることで建築面積が大きくなり敷地面積に対する住戸数が減少した。 ・町内空き家総数に対して、空き家バンク登録物件が少ないため所有者への周知の工夫が必要である。 ・公共に比べ数の多い民間施設整備では地場産木材に限定していない方が多い。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅といった建築物の性質上、外部委託等、内部事務の見直しの余地は無いと思われる。 ・空き家バンクについては、調査登録から契約までの一連の業務の事務負担が大きく、一部の事務については外部委託や事務の簡素化を検討する必要があると考えます。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施中の町営住宅松下団地建替事業において、UDを考慮した住宅整備を行っていく。 ・空き家が増加している中で、より効率的に事業を展開していく。 ・今後も公共建築物整備に地場産木材を活用していく。
-------------------------------------	---

<p>本資料は、適正に作成しました。</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;">担当課長氏名</td> <td style="width:50%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">月田 啓</td> <td></td> </tr> </table>	担当課長氏名		月田 啓	
担当課長氏名					
月田 啓					

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額
01	町営住宅建替事業	建設課	目的	町営住宅松下団地の建替え。		
			概要	老朽化が著しく住環境が悪化している松下団地を建替え、良好な景観と住環境を提供する。地場産木材による建設とUD化により地域木造住宅のモデル化を図る。		
			成果	地場産木材の活用とUDの視点に立った7号棟の実施設計を行なった。		
		建築営繕係	問題	建替え計画に沿って入居者の住み替えなどの協力が必要である。		
			対策	①継続 スムーズな建替えを行うため、入居者への情報の提供とコミュニティの形成を図る。		
			事業費	8,085	19,983	43,657
02	空き家等対策事業	総合政策課	目的	過疎化や高齢化が進み空き家が発生している状況で、空き家条例を策定し適正な管理を図り、地域の良好な景観の保全と住民の安全安心な暮らしを確保する。		
			概要	空き家等の活用及び適正な管理の啓発等による管理不全空き家の発生抑制と、危険空き家の解消に取り組む。		
			成果	空き家所有者にリーフレットを配付し課題意識の醸成が図られた。また、管理不全空き家の所有者と協議を重ねた。		
		地域振興係	問題	危険空き家の所有者へ、指導・助言を実施しているところですが、危険空き家以外の空き家に関する相談が増加しており、その活用を検討する必要がある。		
			対策	①継続 空き家を活用した移住定住ハウス等の検討を行う。		
			事業費	5,129	399	812
03	空き家等活用事業 (空き家等対策事業)	総合政策課	目的	過疎化や高齢化が進み空き家が発生している状況で、空き家バンク等の活用により、地域の良好な景観の保全と住民の安全安心な暮らしを確保するとともに、地域振興に寄与する。		
			概要	空き家バンク制度の整備。		
			成果	令和2年度は、5件の契約が成立した。		
		地域振興係	問題	空き家バンクに登録を希望する所有者が少ない。また、相続登記等の問題で登録できない物件もある。		
			対策	①継続 所有者の理解を得るための啓発活動を図る。		
			事業費	0	0	0
04			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
05			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			13,214	20,382	44,469	85,386